



第77号



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION



2019.09

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL : 088-656-3303



日本語弁論大会の様子



2019年度外国人による徳島県日本語弁論大会

当協会主催の「外国人による徳島県日本語弁論大会」があわぎんホール（徳島県郷土文化会館）で7月21日に開催されました。本年は7か国1地域13名の出場者があり、国際色豊かな大会となりました。出場者の方たちのスピーチはどれも素晴らしく、会場にいられた180名の来場者の方たちは熱心に耳を傾けておられました。弁論大会終了後の交流会では、徳島県庁フィルハーモニー管弦楽団による「ふるさと」の演奏に合わせて、出場者たちと来場者が熱唱し、その後、出場者によるオリジナル曲の弾き語りやアフリカの太鼓の披露などがあり、出場者と来場者の方たちが一緒に楽しいひとときを過ごしました。

今大会で最優秀賞を受賞されたのは、NPO法人眉山大学のボランティアでメキシコ出身のサンチェス・ハコボさんです。

VIVA 徳島！！！！



Hola! Buenas tardes a todos y gracias por asistir. 皆さん、こんにちは！メキシコから来ましたハコボと申します。お元気ですか。

ところで皆さん、メキシコと日本には共通点があると思いますか。アニメ、侍、ラーメン、言語、歴史などの文化。これらがきっかけで、私は小さい頃に日本が好きになりました。その時は、すべてがメキシコと全然似ていないと思いました。そして私はだんだん日本に興味を持ち始めました。

日本に来るために、長い間いくつかの目標を立てて、たくさんの努力をしましたが、私は観光する時に得られるもの以上の何かを経験したと思いました。私は観光客以上の存在になったかったです。そして、自分自身の性格や考え方、メキシコ文化について何かを伝えられるようになりたいと同時に、もっとリアルで親密な日本を感じたいと思っていました。

昨年の10月にボランティアのプログラムを探すことに決めて、眉山大学というNPO法人を見つけ応募した結果、受け入れられて、12月に飛行機チケットを買いました。そして、今年3月の最初の週にここ徳島に着きました。どのボランティアプログラムを選ぶかということに関して、社会を助ける機会がたくさんあるという理由から、私は眉山大学のプログラムに決めました。

ボランティアプログラムでする活動は面白く多様です。例えば、花ロードの花を世話したり、保育園と小学校の活動を手伝ったり、その子供たちと遊んだり、川を掃除したりします。さらに、障害を持つ子供たちと一緒に遊ぶための活動もしています。彼らと遊ぶこの経験はとてもユニークで楽しいです。

私は、これらすべての活動によって、多くの人々と出会い、友達をつくりました。また祭りについて知り、文化を知り、日本語を練習することができ、さらに自分自身を知ることができました。

徳島は私が住んだ日本で最初の都市であり、私はそれが良い決断だったと思っています。なぜなら、徳島の人々は親切で、外国の文化や外

サンチェス・ハコボ（メキシコ合衆国）
 国人と知り合うことに興味があります。また、街自体は大きくないにもかかわらず、活気と楽しさにあふれた場所がたくさんあります。そして、徳島には1年を通して楽しめる美しい自然と阿波踊りというユニークなお祭りがあります。私は花見をすることができ、ゴールデンウィークについても知り、マチアソビを楽しんで、平成から令和の時代への変化を目撃しました。このように日本の文化を経験したのと同じように、私はメキシコの文化を人々に伝え、シェアすることができました。

例えば、スペイン語の言葉を教えたり、ラテンのリズムでダンスしたり、私の国の状況を説明したり、メキシコ料理を作って友達と一緒に食べたりしました。メキシコ料理の中では、私はグアカモレと言うアボカドを使った伝統的なソースを作るのが好きです。日本ではメキシコと比較するとアボカドの価格が割高なので、グアカモレを作ることも高くつきますが、それは食べてみる価値があります。その材料の中にはメキシコのレモンがあり、ここではそれほど簡単に手に入れることはできませんが、スダチを使った場合、味はほとんど同じであることを私は発見しました。それで、私は徳島のスダチとメキシコのレモンはとても似ていると思いました。徳島のスダチとメキシコのレモンが非常に似ているのと同じように、徳島の人々の優しさも私の国の人々を思い出させ、今私が地球の裏側にいるようには感じさせてくれません。メキシコの文化と日本の文化はあまり似ていないように見えますが、2つの国には様々な共通点があるのです。

最後に、このような素晴らしいボランティアプログラムに参加させてくださったたり、協力してくださっている方々に感謝を伝えたいと思います。

皆さん、ほんまにありがとうございます。
 Muchas gracias!



TOPIA 夏のイベント報告

サマースクール 『夏休み子ども日本語教室』

今年もサマースクールが7月23日から8月3日までの間で8日間開催されました。中国、モンゴル、フィリピン、インド、アメリカ、ドイツ、オーストラリアの7か国にルーツを持つ子ども達25人が参加し、日本語学習や夏休みの宿題、苦手な科目に意欲的に取り組みました。また、「うちわ」作り等の楽しいイベントや、自分の将来の夢の発表なども行い、大変にぎやかな教室となりました。

9月になり、2学期が始まりました。それぞれの場で、一人ひとりが、輝いてくれることを願っています！一人ひとりに届いたサマースクールの「アルバム」がきっと、心の支えとなり、それぞれの宝物になることでしょう。

(この事業はJTMとくしま日本語ネットワークに委託)



『中高校生夏期英語セミナー』

8月12日(月)から14日(水)まで、四国霊場第七番十楽寺において中高校生夏期英語セミナーを開催いたしました。英語によるコミュニケーションをとって将来の国際化を担う青少年の育成を図り、外国への一層の理解を深めることを目的としたこのセミナーに、県内中高校生31名、外国語指導助手(ALT)及び国際交流員60名が参加しました。2泊3日と短い時間でしたが、中高校生たちがALTたちと共に様々な活動をし、同じテーブルで食事をし、英語でコミュニケーションをとる楽しさを実感していただけたのではないかと思います。英語セミナーを機に、参加者の皆様の語学学習および国際理解への関心が益々高まっていくことを願ってやみません。

『やさしい日本語での落語会』

8月24日(土)、桂七福氏による「やさしい日本語での落語会」が開催されました。今年で3回目を迎えた「落語会」では、演目「猫の茶碗」を披露いただき、巧みな話術と落語特有の所作で、57人の来場者は、すぐに落語の醍醐味と笑いの渦に引き込まれていきました。演目の前に、落語での「手ぬぐい」と「扇子」の使い方や、一人で何役(男性、女性、子ども等)もする時の様子、また走る、立つ、座る、食べる等の様々な所作を実際に見せていただき、伝統芸能「落語」の特徴や素晴らしさを知ることができました。20名の外国からの参加者や子ども達にも話の内容がわかりやすく伝わるよう、工夫していただき「ほっこり」とした楽しい落語会のひとときでした。



この夏に国際交流員のダラリン・イーさんがTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の国際交流推進などに努めていただきました。これからの益々のご活躍を期待しております！また、ダラリンさんの後任にアメリカ合衆国出身のシドニー・バティグさんが着任いたしました。

A Hui Hou Tokushima! (徳島、またお会いしましょう!)

前徳島県国際交流員
ダラリン・イー

私は7月の末にハワイに帰国いたしました。3年間、大変お世話になりました。「ハワイから来ました」という言葉をいうだけで魔法のように、相手の目がパッと輝き、ハワイの旅の思い出を聞かせてくれます。同じく、皆さんがハワイで様々な経験をされたように、私も徳島で貴重な経験をさせていただきました。ハワイと留学していた京都に並び、徳島県は故郷の一つとなりました。徳島県ではとても豊かな生活を送り、毎日、「徳島に配置されてよかった」と心から思っていました。トピアへの通勤途中に、かちどき橋から眉山の景色を眺めたり、徳島県産の新鮮な食材を食べたり、阿波踊りを練習したりしてとても充実した阿波ライフを送ることができたと思います。さらに、おもてなしの心を持ち、いつも優しく話してくれる徳島県民は何よりも印象的でした。

国際交流員になる前の私は、とても大人しく、こだわりのある性格でしたが、この3年間で積極的になり、何でも挑戦するようになり、自分の成長へと繋がりました。徳島の市町村や世界に関する知識を得たり、日本語の語彙力を高めたり、地元の課題を勉強したりすることができ、一つ一つの経験が学びの機会になったことに感謝しております。

何でも挑戦したい性格といえ、ゴールデンウィークのドイツ旅行はその一つの例になるかと思えます。一年目のときにドイツ交流関連イベントでニーダーザクセン州やリューネブルク市の方の英語通訳をさせていただいたことがあり、ドイツ人の同僚も数名いました。出会ったドイツ人から、ドイツの魅力を知るこ

とができました。それをきっかけに自分の目で見たくなり、ゴールデンウィークにドイツへ旅行しました。前ドイツ国際交流員のフランシさんが案内してくださり、以前皆さんから教えていただいたドイツの魅力を目の当たりにすることができました。世界の有名な歴史的な場所、ハワイにはない、ドイツならではの豊かな自然、世界中で一

番美味しいパンとケーキを満喫しました。故郷のハワイと11,989キロ離れているドイツについて学び、ドイツで様々な経験をさせていただいたのは徳島県とドイツの間の友好交流があったからだと思えます。ドイツと徳島県の友好関係のさらなる発展を願っております。

次の行き先はハワイです。不安を抱えながら、「新しい仕事でうまくいけるかな」や「今の私で元気に生活ができるか」とよく思い悩みます。しかし、この仕事で得たスキルや経験を活かしながら故郷であるハワイの社会に恩返しをし、日本と米国の架け橋を強めていきたいと思えます。

徳島県国際交流協会をはじめ、徳島県国際課、無双連、そして徳島で出会った友達にお礼を申し上げたいと思えます。皆様のおかげで徳島で最高の3年間を過ごせたと思えます。また徳島・ハワイでお会いしましょう！アロハ！





TOPIA ニューフェイス

Hello from Michigan!

徳島県国際交流員
シドニー・バティグ

こんにちは！私は皆さんにお会いするのがとても楽しみです。私の名前はシドニー・バティグです。徳島県庁とTOPIAで国際交流員（CIR）として働きます。私のことはシドニーと呼んで下さいね。（オーストラリアの都市の名前と同じです。）私の出身地はミシガン州にあるフリント市です。ミシガンは五大湖で有名なので、泳ぐことや自然が好きならぜひ一度は訪れてみて下さいね！

高校時代にはスペイン語を勉強していましたが、日本の文化に興味があり、大学で日本語の勉強を始めました。しかし、将来の自分のキャリアにおいて日本語をどのように活かしていくかはまだ想像できませんでした。そんな時、大学3年生の時に架け橋交流プロジェクトに参加し、初めて日本を訪れる機会をいただきました。私は東京都と石川県を訪れ、そこでホームステイしたり、書道や歴史などの日本文化をより深く学んだりして、様々な素晴らしい人々にも出会いました。そして、帰国後1カ月を待たずして、私は留学生として再び日本の滋賀県に戻ってきました。

日本で過ごした時間は私にとって大きな影響を与え、アメリカに戻った後は日本語を更に熱心に勉強するようになり、いつか日本で働きたいと強く思うようになりました。今では、自分自身が多文化を学ぶことと同様に、私自身の文化を他の方に伝えたいとも思っています。

架け橋プロジェクトのように、私自身が国と国とをつなぐ「架け橋」になりたいと思っています。もちろん、現在まで学んできた日本語の能力もしっかり活かし、さらに頑張りたいと思っています。

今回が私にとって3回目の来日となりますが、徳島（そして四国）に来るのは初めてです。徳島に来てまだあまり時間は経っていませんが、これまで出会った人はみんな本当に親切です。徳島の自然は信じられないほどとても美しく、徳島にあるものをもっとたくさん知りたいとわくわくしています。そして、多くの方たちに、アメリカやミシガンについてもっと知ってもらえるようにしたいので、質問があったら、遠慮せずに、何でも私に聞いて下さいね！

もし私を見かけたら、気軽に“Hi!”と話しかけて下さいね。皆さんとお会いし、お話しできることを心から楽しみにしています。



徳島県多文化共生総合相談ワンストップ窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談ワンストップ窓口を開設いたしました。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場所：公益財団法人徳島県国際交流協会

対応言語：英語、中国語、ベトナム語

（それ以外の言語でも、翻訳機を活用して職員が対応させていただきます。）

T E L : 088-656-3303

**無料
秘密厳守**



～県内国際交流団体活動紹介～



「ともに」とは

つるぎ町多文化共生を考える会「ともに」
代表 西岡 真弓

つるぎ町をご存じですか？南は西日本2位の高さを誇るつるぎ山、北は四国三郎吉野川に囲まれた自然豊かな町です。そんな我が町には現在約30人の外国人が居住されています。多くはフィリピン、中国から来ています。平成29年度、つるぎ町教育委員会は文化庁「『生活者としての外国人』のための日本語教室空白地域解消推進事業・地域日本語教育スタートアッププログラム」に応募して採択されました。この事業の趣旨に賛同する有志で結成されたボランティアグループが私達の「ともに」です。約15名（常時活動は6名）のメンバーは教職経験者、住職、公務員などですが、笑いの絶えない愉快的仲間です。こんな私達の活動についてご紹介させていただきます。

本町の外国人の方の多くは日本人の配偶者で、お子さんのいらっしゃる方がほとんどです。日本に來られて10年以上のベテランであっても、お子さんが小学校に通うようになると学校行事や宿題のことで困ることが多いようです。そこで、私達「ともに」は同じ町に住む住民の1人として、生活や子育ての悩みをサポートし、日本語学習や文化体験を主に楽しく行うことを目的として活動しています。

日本語教室は月1～2回、半田の「小野コミュニティーセンター」で現在2～4名が学習しています。以下のような内容で、前半に文化体験、後半に日本語学習を行っています。イベントなどは、学習とは別の日に行っています。

日本語教室の学習内容

日本文化体験	手芸(ハーバリウム作り・藍染めコサージュ作り) 書道(筆ペンで年賀状・太筆練習) 着物の着付けと茶道体験、イチゴ狩りその他
母国の文化紹介	調理(フィリピンのスイーツ マハブランカ)
多文化共生イベント	「ともに セタまつり」 「オデオン座国際プロジェクト」への協力
地域住民との交流	廻り踊り大会・町内英会話教室との交流会・ ALTとの親子英会話・ホームステイ
日本語学習	漢字学習(市販の漢字テキストを使って) 会話練習(「みんなの日本語」ビデオを使って)



着物の着付けと茶道体験



毛筆書道体験



最後に、6月に「ともに」が主催した「セタまつり」では、日本語の4技能(読む・聞く・話す・書く)を駆使して、学習者の皆さんが地域の方達と楽しく交流する姿に感動を覚えました。これからも「ともに」学び、ともに理解し、ともに豊かに」をコンセプトに、地域に暮らす日本語学習者の支援を続けていきたいと思っています。



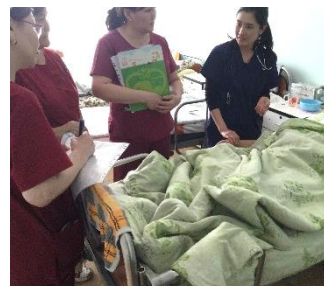
セタまつり

「ともに」連絡先
つるぎ町教育委員会日本語教育担当
TEL 0883-62-2331

「JICA海外協力隊」2019年度秋募集

JICA海外協力隊とは、開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら、技術や経験を活かして人々の自助努力を促進させる形で協力活動を展開していく海外でのボランティアです。JICAは、20歳から69歳の方を対象に、JICA海外協力隊の2019年度秋募集を行います。

- 募集期間：2019年8月20日（火）～2019年9月29日（日）
- 応募区分：一般案件… 広く職種で応募する区分
シニア案件… 一定以上の経験・技能等が必要な個別案件へ応募する区分
- 詳細URL：<https://www.jica.go.jp/volunteer/>



総合病院で技術指導をする藤川理恵OV
(モンゴル/看護師/2016～2018年)

世界のいまを知ろう！～徳島大学 社会連携特別講座～

2019年度 秋冬学期 徳島大学 社会連携特別講座

外国人材受け入れを通じた 地域活性化と共生

～世界と徳島の新たなつながりを目指して～

開催時期	2019年10月～12月 全7回	開催時間	18:30～20:00
定員	50名 (申込受付 8/28 17:00)	会場	徳島県 徳島市
実施主体	徳島大学人と地域共創センター、独立行政法人国際協力機構内国センター（JICA内）		
共催	徳島県国際交流協会（TOPIA）、徳島市国際交流協会（TIA）		
第1回	10/11（金）「世界と日本・徳島のつながり、国際協力の意義について」		
第2回	10/18（金）「ベトナム農業実地、および外国人労働者との協働による国際ビジネス展開への挑戦」		
第3回	10/25（金）「高度外国人材の活躍促進」		
第4回	11/1（金）「外国人材による多文化共生のまちづくり」		
第5回	11/8（金）「県内在住外国人の生活・経済の実態と市街との共生に向けた課題」		
第6回	11/29（金）「外国人労働者との協働と、働きやすい／生活しやすい環境づくり」		
第7回	12/13（金）「徳島の国際化の状況とこれからの地域活性化と共生」		

JICAは、徳島大学 人と地域共創センターが実施する2019年度秋冬学期の公開講座にて講座を開講します。

■ 講座概要：グローバル化が進む今、海外展開や外国人材受け入れがより身近なものになってきました。この講座では、世界と徳島が効果的につながり、外国人と共生し、徳島の社会・経済の活性を促進する地域づくりや国際交流・協力のあり方を考えます。講師は、この分野に関与する様々な団体の関係者が務めます。各回の講座を通じた受講参加者の気づきをもとに、今後の地域社会の展望につなげていきます。この課題に取り組む、徳島県・市国際交流協会、JETRO、農業法人、大学有識者と協同で講座を開催します。

■ 日時：2019年10月～12月 18:30～20:00

■ 講座開催スケジュール：

第1回10/11（金）、第2回10/18（金）、第3回10/25（金）、
第4回11/ 1（金）、第5回11/ 8（金）、第6回11/29（金）、
第7回12/13（金）

JICA国際協力出前講座

開発途上国の実情を知り、国際協力の必要性を理解していただくため、JICA海外協力隊のボランティアのOB/OG、JICA専門家経験者、JICA職員を講師として派遣し、その経験などについて講演します。国際交流ワークショップや異文化理解講座なども実施しています。JICAは世界92か国にボランティアの派遣実績があります。普段、交流機会の少ない地域に2年間滞在、活動していた元ボランティアや海外からの研修員が現地の生活・文化紹介やボランティアの活動体験談、帰国後の日本への社会還元の取り組みなど、ご希望に応じて出前講座を行います。講座内容・日時等は要相談、お気軽にお問合せください。



「もし、世界が100人の村だったら」
WSを行う滝下知香OV（ボリビア
／青少年活動／2006～2008年）

■ 詳細URL：<https://www.jica.go.jp/shikoku/enterprise/kaiatsu/demae.html>

＜お問い合わせ＞ JICA徳島デスク（TOPIA内）国際協力推進員 長田有加里
電話：088-656-3303 メール：jicadpd-desk-tokushimaken@jica.go.jp

「とくしま外国人支援ボランティア会員」

＊募 集 中＊

徳島には約85か国、6,000人を超える外国人の方が住んでおり、今年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

また来年の「東京オリンピック」、更にはその翌年の「ワールドマスターズゲーム2021」の開催により、ますます多くの外国人をサポートするボランティアが必要になると見込まれております。ぜひご登録いただき一緒に活動しませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページに新設された「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

英語・中国語・ベトナム語による 多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語・ベトナム語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフオン）もごございます。是非、ご利用ください。

受付時間：平日 10：00～18：00

T E L：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

在住外国人の方対象の「防災出前講座」を ご利用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフ巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。＊申込は当協会まで。



問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>